



青少年の犯罪ふえる

放任主義が悪の道へ

町から非行少年を出さない運動中

!! 私たちの町から非行少年を出さない運動!! が十二月一日から一ヶ月間展開されました。県下でも、最近青少年の犯罪や不良行為がいちじるしく増加、これから社会を巣立とうとする大事な年令層の犯罪は、一つの大きな社会問題となっています。そこで大根占警察署がまとめた少年犯罪メモを中心に、いろいろとりあげてみました。

多い小、中学 生の犯罪

まず、昭和三十六年一月から十月までの犯罪種類をみてみましょう。

◎ 犯罪少年	十九名
大根占町	十三名
根占町	三名
佐多町	三名
◎ 不良行為	二十名
大根占町	七名
佐多町	七名
根占町	四名
田代町	二名
◎ 触法少年	十名
大根占町	三名
佐多町	一名
田代町	一名

右を職業別にみますと

小学生	九名
中学生	八名
高校生	四名
勤労少年	十二名

お年玉ハガキの消印が省略されます

十二月十五日から二十八日まで、昭和三十三年に差し出したお年玉ハガキは、一月一日の消印を省略して配達することになっています(郵政省からのお知らせ)

動機はこづかい 銭ほしさ

つぎに犯罪を犯す動機、原因をみますと、やはりこどもだけにこづかい銭ほしさ、でき心というのがもっとも多いようです。

こづかい銭を例にしても、こどもによつて月三百円ですますこどもと、月千円でも足りないこどもがあり、こづかい銭のあたえかたが問題になってきます。

ほしい暖い家 庭環境と愛情

さらにもう一つ大事なことは家庭環境ということですが、罪を犯した少年の家庭状況をみてみますと、そこには親の無理や金銭の放任主義などいろいろな理由があり、いちがいに言えませんが、ただ暖い愛情につつまれている家庭には、決して非行少年はいないということだけは、ハッキリいえるようです。

これから社会へ一歩踏み出そうとする青年たちが、正しくすこやかに伸びてゆけるよう私たちも力をあわせたいものです。

年末はとくに 注意したい

一方警察でも、この運動にちなんでつぎのことを各家庭へ呼びかけています。

① 学生が冬休みに、家族の猟銃、空気銃を無断で持ち出し、無免許で狩猟しているのを見受けませんが、これはおそろしい事故をおこす原

因ともなりますので厳重に注意する。

② 年末年始は、職場や学校から開放され、そのうえこづかい銭も豊富なことから、つい気もゆるみがちです。

二十三日から冬休みになります。この冬休みは期間は短いですが、年終の時期であり、次のような注意が望まれます

一、年末年始はいそがしい、いらだちやすい条件も多いが、なるべく平静を失わず、こどもの能力に応じた仕

冬休みのこども指導

その時々感情でこどもに当たることのないようにすること。

二、年末年始は生活に一つのかぎりをつける時期。こどもの反省と新しい決意をすなおに伸ばしてやるよう

補欠選挙はありませ

本町議員の、故桑原盛次郎氏の死去に際し、一名の欠員ができたのですが、法により市町村の議会の議員の補欠選挙は議員の定数の六分の一を越えるに至ったときでなければ選挙はありません。

(大根占町選挙管理委員会)

出品多数を即売は二十日

大根占町園芸品評会開催

町内の野菜類果物類草花類
のできたものの品評会を本年
も次のような計画で開催しま
すので各部落沢山の出品をし
ていただく様期待します。

五、指定場所

1、高校講堂

2、笹原公民館

3、川南公民館

4、宿利原支所

5、大尾支所

6、神川農協

7、鳥浜支所

六、主催大根占町農業技術員
連絡協議会

計画

一、とき 十二月十九日
十二月二十日

二、場所 高等学校講堂

三、受付 十九日午前中

四、観覧即売 二十日



なお出品者は部落長にご連
絡してください。

火の用心

空気が乾燥しています。またたくまに財産
が灰となります。くれぐれも火の用心を
年末のあわただしさ、心づかれで
心を許さず、戸締りは厳重に

戸締り用心

総収納代金八、六九三万余円

36年度たばこ収納終了

本年度のたばこ収納は十二
月八日をもって終了しました

三、総量目二一〇、七七二K

四、総収納代金

八六、九三五、九七五円

五、一〇アール当り代金

八九、〇六二円

六、一町当り平均代金

二、耕作面積九七、六一三ヘ

一、耕作人員 三九七人

二、耕作面積九七、六一三ヘ

一、耕作人員 三九七人

二、耕作面積九七、六一三ヘ

一、耕作人員 三九七人

二、耕作面積九七、六一三ヘ

一、耕作人員 三九七人

二、耕作面積九七、六一三ヘ

一、耕作人員 三九七人

二、耕作面積九七、六一三ヘ

一、耕作人員 三九七人

二、耕作面積九七、六一三ヘ

一、耕作人員 三九七人

年末のおかい物はせひ町内の店で

家庭メモ



主婦にとつても
つとも気ぜわしい
師走ももう間近、
いまのうちに季節

の家事をすませておきましょう。

〇……畑仕事や戸外での働き着は、下着に
保温性のあるものを。ことに吹きさらしの中
での作業には、不用の純毛品を適当にく
ふうし、下着を何枚も用意しておくとう便
利です。

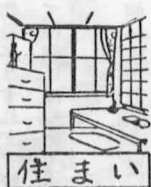
〇……背広やスーツは、手入れひとつでい
つまでも気持ちよく着られるものです。
エリやソデのあかじみているところはベン
ジンで、汗しみ、かびなどはアンモニア水
(20倍～30倍)でふき、1週間か10日に1回
プレスすることです。



()……この月は魚
類では、アジ、タラ、ヒラ
メが出まわります。
アジは酢じめにして、その
ままアジずしなどいかが。

〇……野菜類では、ホーレン草シュンギクなどがで
ます。

ホーレン草はビタミンA、B、Cの葉酸、ミネラル
が豊富で悪性貧血にもいいものです。ただ生までな
く、ゆでてサラしてから使ってください。



〇……部屋をあたたかく、
ということで換気を忘れが
ちです。
とくに受験生のいる家庭は
注意してください。

暖房に火はつきもの。火の用心はもちろんバケツに
水をはっておきましょう。

〇……寒くなると台所用具の手入れがとどかなくな
りますから、時にはフキンなどもサラシ粉で消毒し
ましょう。

二二円

七、一〇アール当り量目

二二五冠

八、各種最高者

1 総収納代金 遊喜 好彦

2 反当最高者 入佐 喜助

3 一町当最高者 水口克巳

ホイルトラククターによる畑

深耕の見学をお勧めします。

只今宿利原台地で県のホイル

トラククターによる畑の深耕を

実施しております。年内は二

十六日頃まで行う予定であり

ます。深さは四五センチ位ま

でできますので作物の増収と

雑草の除去、土中の病虫害防

除に役立つことが立証されて

自衛官募集中

自衛官(二等陸、海、
空士)をつぎの要領
で募集しています。

△応募資格 昭和12年1月

2日から同年

9月1日まで

に生まれた

男子

△受付期限 昭和37年1月

25日まで

△試験 昭和37年1月

31日迄

いますので将来町内耕地に実
施することが望まれています
のでこの機会に農家の皆さん
のご見学をお勧めします。

火災 保証金十万円

みなさん方の建物は全部、火事程おそろしいものはあ明日といわず今日の内に耐火建築に改造いたしましょうと申しましてもお金の問題でなる夢でしかないと考えるのが早合点のようです。

そこで、共済組合では建物共済をおこなっております。二百五十円かければ一ヶ年間十万円の保証がされます。

千二百五十円では五十万円です。各人の建物にに応じて加入しておけば、何時火事のサイレンが鳴りましても安心です

豆類材料の料理は

くさりやすい

暮から正月にかけては、「おせち料理」が用いられます。おせち料理は何日も前から用意して、松の内中もたそうとするため、くさったり、細菌がはんしょくしたり、ネズミやハエ、あぶら虫などに汚されたりして中毒する危険が多くなります。

共済金額	共済掛金
四万円	百円
六万円	百五十円
八万円	二百円
十万円	二百五十円
二十万円	五百円
三十万円	七百五十円
四十万円	千円
五十万円	千二百五十円

◆きぬさやえんどうの管理について

適期播についてはすでに收穫が始まっていますが、価格も昨年と同様高価をよんでいますので、管理を徹底されるようお願いいたします。

害虫

◎防風垣を作りましょう。これから寒くなりますので、西北風の強く当る所は寒風のため葉や茎が、傷み又ひどいものでは、花が落ち、落ちない花でも小さな花となり数も少なくなり、したがって收穫量を上げることからも必要であります。

農事スポット

又支柱の倒伏防止にもなりますので、必ず、実行してください。防風垣はあまり厚いのでなく薄いので良いです。◎病虫害防除を徹底しよう。

病氣

これから出る主な病氣はウドンコ病（葉に灰色のカビがつく）であります。この病氣が出るのと下葉から枯れ上りますので、收穫量が少なくなりますので、防除は早目におこないましょう。

◇だぶ飼いをやめましょう。

冬になりますと、青物が不足し、ワラを主体としただぶ飼いが、多くなりますが、これは次のような理由

で飼料の効果がうすれますので、やめて練飼いに変わて下さい。

一、だぶ飼いは水分が多いので、だ液（消化液）の分泌が少ないので、飼料中の養分が、充分消化吸収されない。

二、牛の第一胃は飼料中の澱粉を、蛋白質に変える力をもっている。しかし、だぶ飼いをすれば

第一胃に貯蔵されている時間の短いので、澱粉が蛋白質に変えられない内に、腸に送られますから牛の特性である澱粉を、白質に変える力も弱まり又、消化吸収も悪くなります。

三、一般に、だぶ飼いは、喰込み量が多いように見受けられますが、実際は水分を多く飲み込んでいるので実質的な飼料量は少なくなり喰い残しますでそれがくされ易くなります。

冬は感冒胃腸病が多くなりますので注意しましょう。

第一に冬の飼料は粗飼料が多く濃厚飼料の過給になり易いので過給にならないよう出来るだけ良質の草で、特にドブ飼いをさけ麦類は熱湯をかけ塩で味付けて与へましょう

第二に畜舎は敷わらを充分に与へスキ間風のはいらないようにしましょう。

第三に使役前と後は限らずワズリを実行しましょう。

第四に使役しないときでも運動と日光浴をやりましょう（畜舎から引き出すときは限らずワズリすること）

第五に牛の場合はきものをにつけず畜舎内の保温にきをつけましょう。

第六にこの時期に生まれる豚は仔豚の保温箱を作りましょう。

なお冬の胃腸障害は初期のうち大事をとりましょう。

◆訂正

十一月号の小家畜のらんで「政性」とは「酸性」の誤りでした。